

プログラム名 (40字以内)	紀州アメリカ村で、地域の過去と未来を考える		
団体名/所属	一般社団法人Kii-Lab／NPO法人日ノ岬アメリカ村理事		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動、フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	自動抽選
募集人数	9人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	日系移民の歴史、伝統茶の開発、地域おこし、田舎のリアルのいずれかに興味がある人		
活動期間	2025/9/22(月)～9/24(水)	主な活動予定場所	和歌山県日高郡美浜町三尾
プログラム実施の目的	かつてカナダへ出稼ぎ移民し、日系カナダ人のルーツとなった紀伊半島、その中でも「アメリカ村」と呼ばれた移民母村の三尾集落は日系カナダ人を多く輩出した村としてかつて知られていました。今はカナダ移民も途絶え、高齢化率が50%を超える過疎地域でありながら、地域の歴史や文化を活かした活動ができつつあります。本ワークショップでは、地域という「ローカルな魅力」を引き出し、グローバルに人気を集める「グローバルな地域」を作ろうとしている現場に来ていただき、歴史や文化という過去から蓄積してきた地域についてをこれからの地域の未来を考えます。		
具体的な内容(800字程度)	・活動先 和歌山県美浜町三尾集落 カナダミュージアム ・企画内容(仮案) 今年度は、地域で伝統的に作られていた伝統茶「イチネン茶」(カワラケツメイ茶、豆茶)について、聞き取りと商品化に向けた作戦会議に関わっていただきます。 ・スケジュール(仮案) 1日目午後 導入 NPO法人理事(三尾)からカナダ移民について、三尾地域についての説明をします。カナダミュージアム等を訪問し、歴史保存の現状と基礎知識を得ます。 2日目午前 フィールドワーク1(歴史を「知る」) 三尾の散策、古民家、資料館、産業に始まるその地域の特色を実際に歩き回ることによって体験します。特に地域の人が飲んでいた「イチネン茶」に着目して、地域の歴史を学ぶ中・高生たちと一緒に地域の高齢者の方やカナダ移民関係者の方にインタビューを行います。 2日目午後～3日目午前 フィールドワーク2(歴史を「活かす」) 地域の歴史や文化を次世代につなげるいくつかの取り組みを紹介します。 ①日系カナダ人の歴史を次世代につなげる展示作りと次世代教育(Kataribe.Jr) ②地域の名産を使ったラーメン屋開発(麺と向かって「みお」) ③Uターン者、移住者による開業(おはな結び、道草屋、白鳥商店など) ※本フィールドワークでは、上記に書いた内容全てを網羅できない可能性があります。ご了承ください。 3日目午後 滞在を振り返り、地域の魅力に感じたことを言語化し、参加者の声を地域に残します。 「イチネン茶」のマーケティング戦略・地域住民に知ってもらおうための工夫について提案を受け付けます。 地域の歴史を知った上で、地域でどのような生活が広がっているのか、これからの「地域」がどうなっていくのかを考えます。参加者有志で、その後の商品販売やマーケティングについてオンラインで関われる余地を作ります。		
【総額】参加するための費用	52,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	10,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	36,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	6,000円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	交通費:東京-御坊駅-アメリカ村バス停 往復 宿泊費:宿泊は三尾集落にあるゲストハウスを予定している 参考:Guesthouse & bar ダイヤモンドヘッド、遊心庵 活動費:現地飲食費		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	http://americamura.wakayama.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		